

職場における熱中症による死傷災害の発生状況

1 熱中症による死傷者数の推移（平成18年～平成27年分）

過去10年間の職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者の数（以下「死傷者数」という。）をみると、年によって差はあるものの、3人～19人の範囲で増減を繰り返している。

その間の死亡者数は4人であり、平成19年、平成20年、平成22年及び平成27年に発生している。

熱中症による死傷者数の推移（平成18年～平成27年）（人）

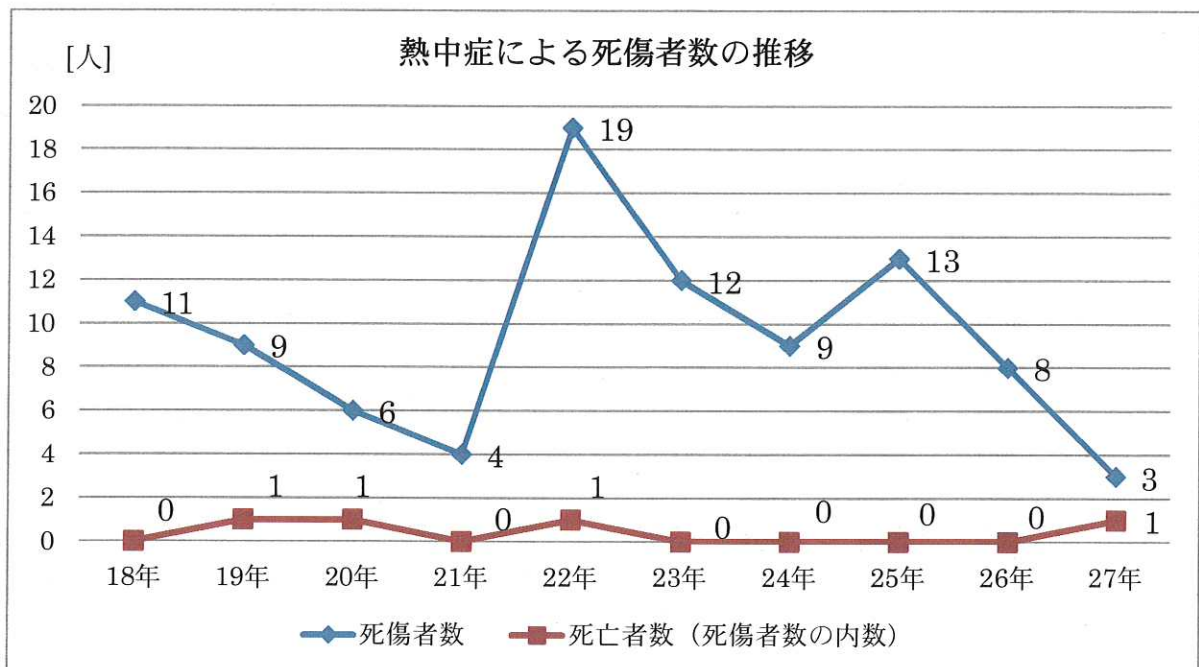
18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
11	9	6	4	19	12	9	13	8	3
(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)

※（ ）内の数値は死亡者数で内数である。

参考) 全国における熱中症による死傷者数の推移（平成18年～平成27年）（人）

18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
269	378	280	150	656	422	440	530	423	463
(17)	(18)	(17)	(8)	(47)	(18)	(21)	(30)	(12)	(32)

※（ ）内の数値は死亡者数で内数である。 *27年度は速報値



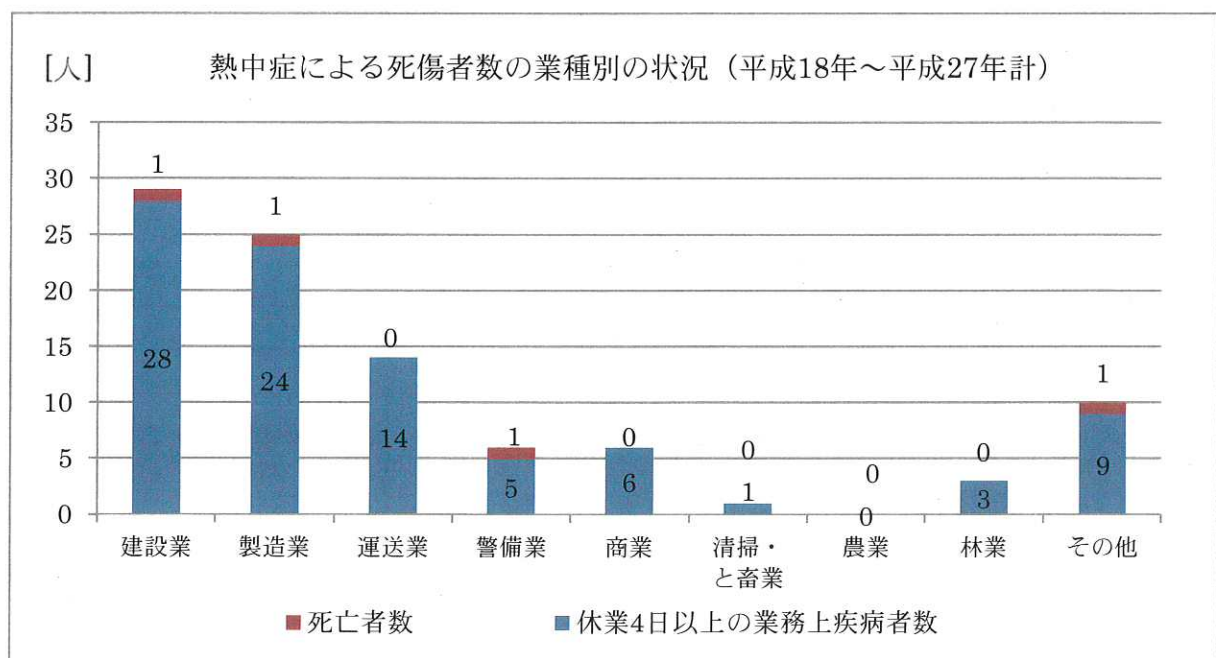
2 業種別発生状況（平成18年～平成27年）

過去10年間の業種別の熱中症の死傷者数をみると、建設業が最も多く、次いで製造業で多く発生している。これらの2業種で全体の約6割(57.4%)を占めている。

熱中症による死傷者数の業種別の状況（平成18年～平成27年）（人）

業種	建設業	製造業	運送業	警備業	商業	清掃・ と畜業	農業	林業	その他	計
平成18年	3 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	11 (0)
平成19年	5 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	9 (1)
平成20年	3 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	6 (1)
平成21年	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
平成22年	4 (0)	5 (1)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	19 (1)
平成23年	3 (0)	4 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	12 (0)
平成24年	3 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	9 (0)
平成25年	5 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	13 (0)
平成26年	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (0)
平成27年	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)
計	29 (1)	25 (1)	14 (0)	6 (1)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	10 (1)	94 (4)

※（ ）内の数値は死亡者数で内数である。



3 月・時間帯別発生状況

(1) 月別発生状況（平成18年～平成27年）

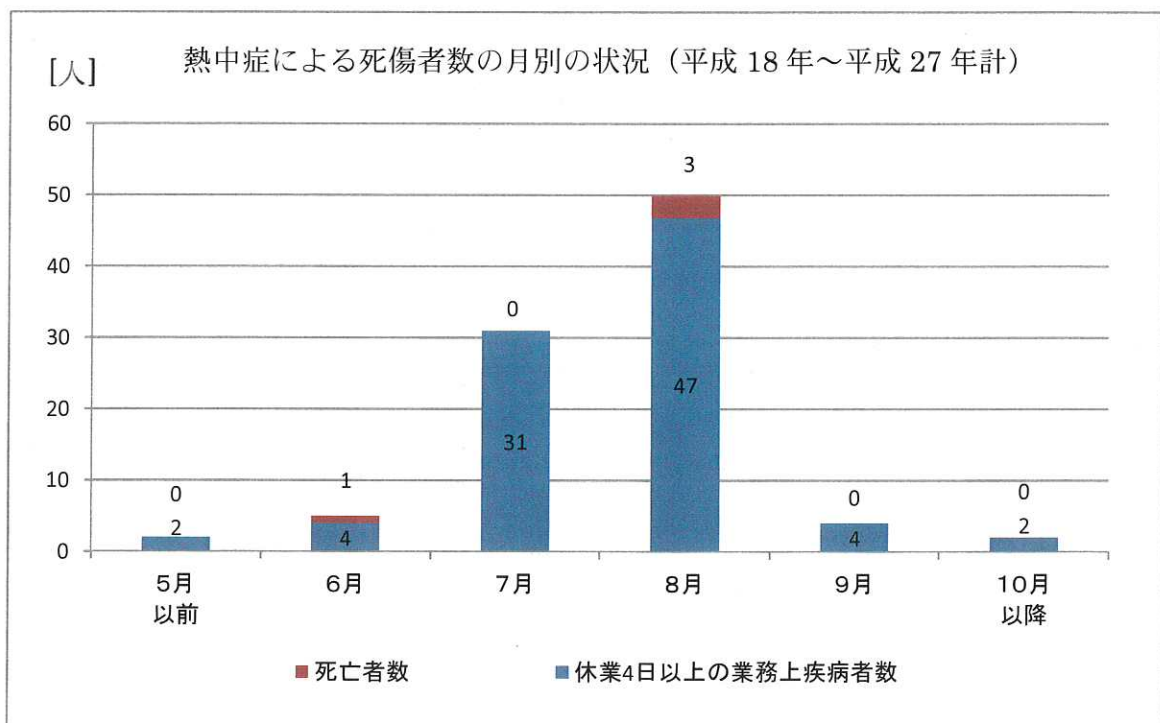
過去10年間の月別の熱中症の死傷者数をみると、全体の9割近く（86.2%）が7月及び8月に発生している。

熱中症による死傷者数の月別の状況（平成18年～平成27年） (人)

	5月以前	6月	7月	8月	9月	10月以降	計
平成18年	0 (0)	0 (0)	2 (0)	8 (0)	0 (0)	1 (0)	11 (0)
平成19年	0 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (1)	2 (0)	0 (0)	9 (1)
平成20年	0 (0)	1 (1)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (1)
平成21年	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
平成22年	0 (0)	0 (0)	4 (0)	13 (1)	1 (0)	1 (0)	19 (1)
平成23年	0 (0)	3 (0)	4 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	12 (0)
平成24年	0 (0)	0 (0)	4 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (0)
平成25年	1 (0)	0 (0)	6 (0)	6 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (0)
平成26年	0 (0)	0 (0)	5 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)
平成27年	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
計	2 (0)	5 (1)	31 (0)	50 (3)	4 (0)	2 (0)	94 (4)

※ 5月以前は1月から5月まで、10月以降は10月から12月までを指す。

※ () 内の数値は死亡者数で内数である。



(2) 時間帯別発生状況 (平成 18 年～平成 27 年)

過去 10 年間の時間帯別の死傷者数をみると、14 時台から急増し、18 時台以降まで高止まりの状態が発生している。

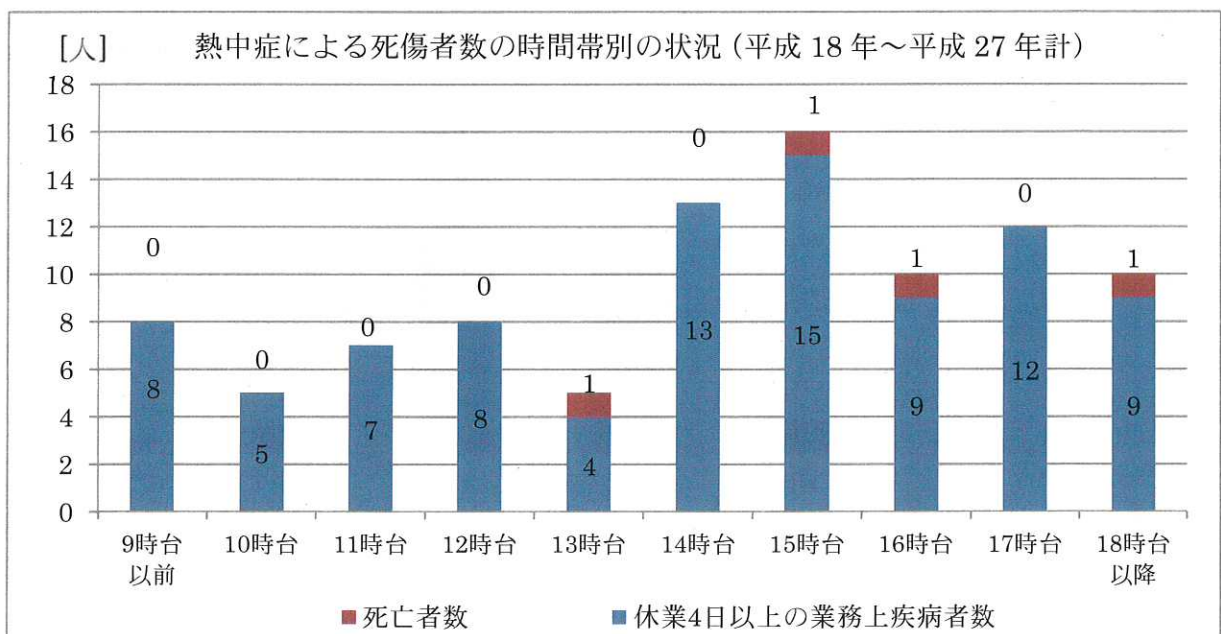
作業終了後の帰宅中又は帰宅後に体調が悪化し、病院へ搬送されるケースも散見される。

熱中症による死傷者数の時間帯別の状況 (平成 18 年～平成 27 年) (人)

	9時台 以前	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台 以降	計
平成18年	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	11 (0)
平成19年	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	9 (1)
平成20年	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	6 (1)
平成21年	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)
平成22年	3 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (1)	3 (0)	3 (0)	19 (1)
平成23年	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	12 (0)
平成24年	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	9 (0)
平成25年	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	13 (0)
平成26年	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (0)
平成27年	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
計	8 (0)	5 (0)	7 (0)	8 (0)	5 (1)	13 (0)	16 (1)	10 (1)	12 (0)	10 (1)	94 (4)

※ 9 時台以前は 0 時台から 9 時台まで、18 時台以降は 18 時台から 23 時台までを指す。

※ () 内の数値は死亡者数で内数である。



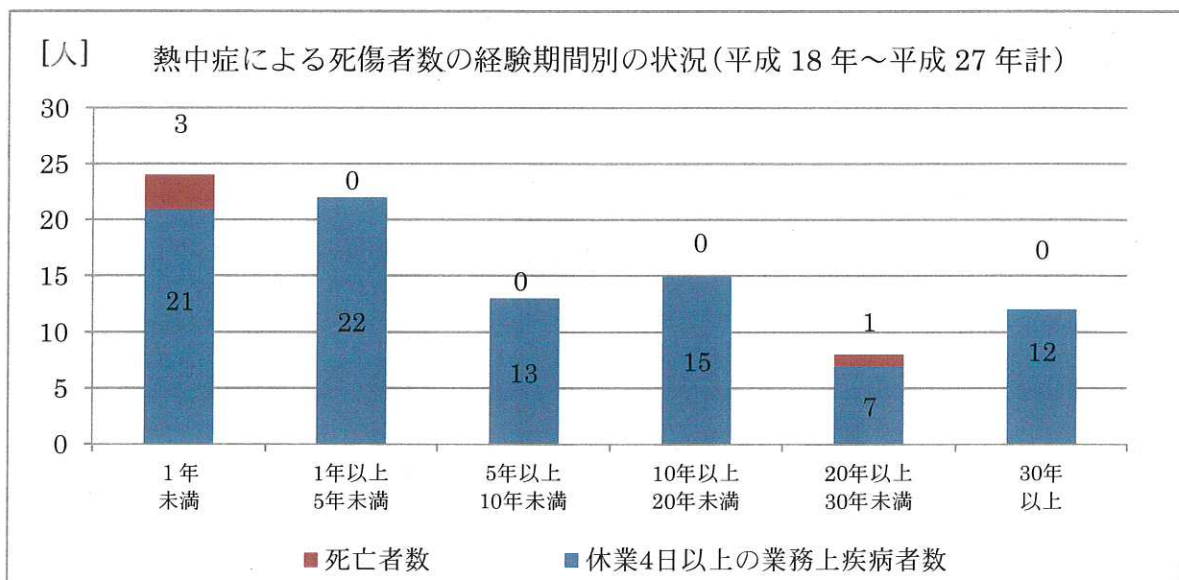
4 経験年数別発生状況（平成18年～平成27年）

過去10年間の経験年数別の死傷者数をみると、1年以上5年未満が24件と最多であり、次いで1年未満の22件が続く。5年未満までの合計46件で全体の約5割(48.9%)を占める。

熱中症による死傷者数の経験期間別の状況（平成18年～平成27年）（人）

	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	計
平成18年	2 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	11 (0)
平成19年	3 (1)	5 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (1)
平成20年	3 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (1)
平成21年	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
平成22年	4 (0)	5 (0)	2 (0)	2 (0)	3 (1)	3 (0)	19 (1)
平成23年	3 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	12 (0)
平成24年	2 (0)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	9 (0)
平成25年	3 (0)	3 (0)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	13 (0)
平成26年	2 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	8 (0)
平成27年	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
計	24 (3)	22 (0)	13 (0)	15 (0)	8 (1)	12 (0)	94 (4)

※（ ）内の数値は死亡者数で内数である。



5 年齢別発生状況（平成18年～平成27年）

過去10年間の年齢別の死傷者数をみると、20歳代が9人と少ないが、30歳代以降は平均的に発生している。

労働力人口を考慮すると60歳代の18件は多いと思われるため、高齢労働者への配慮が必要。

熱中症による死傷者数の年齢別の状況（平成18年～平成27年）（人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
平成18年	0 (0)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	11 (0)
平成19年	2 (0)	1 (0)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (1)
平成20年	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (1)
平成21年	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
平成22年	0 (0)	2 (0)	1 (0)	5 (1)	4 (0)	6 (0)	1 (0)	19 (1)
平成23年	0 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	12 (0)
平成24年	0 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	9 (0)
平成25年	0 (0)	0 (0)	3 (0)	5 (0)	1 (0)	4 (0)	0 (0)	13 (0)
平成26年	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	8 (0)
平成27年	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	3 (1)
計	3 (0)	9 (0)	18 (1)	23 (2)	21 (1)	18 (0)	2 (0)	94 (4)

※（ ）内の数値は死亡者数で内数である。

